第1回 くれよん組の報告

【日 時】平成21年6月20日（土）午後2時から4時

【場 所】市役所 本館8階 第2委員会室

【内 容】（1）くれよん組について
（2）参加者の自己紹介
（3）平成21年度のくれよん組の予定
（4）その他

【出席者】メンバー20人
ほか 職員人、アドバイザー

21年度最初の会議を開催しました。

くれよん組の役割などについてアドバイザーよりお話をいただきました。また初参加の人もいるため自己紹介を行うなどしました。

1. くれよん組について

ワーキング会議アドバイザーより、これまでのくれよん組の活動や役割などについて、以下のようなお話がありました。

① これまでの活動と今後の課題

くれよん組は平成14年に第2期八尾市障害者基本計画を策定する際、当事者や家族などの意見を取り入れる目的でワークショップを開催したことをきっかけとして活動してきました。これまで活動が続いてきたのは、会議が行政に対する要望の場ではなくそれぞれの意見を尊重できる場であること、会議の運営に参加者が関わってきたことがあります。

一方で、運営に携わる特定の参加者に負担が大きくなってきたという課題があります。今後、会議を継続するにあたり、運営を担う人材問題を解決していく必要があります。

② 会議の役割

くれよん組は正式名称を「障害者基本計画ワーキング会議」といい、市民の立場から生活場面における現状や具体的な課題を議論し、課題解決策の検討を行うとともに、当事者の視点が必要な啓発活動などについて検討します。また、八尾市障害者施策推進協議会の下部組織として、会議で議論した内容を障害者施策推進協議会に報告します。

2. 参加者の自己紹介

次に、今年1年間ともに議論する仲間として、顔なじみの関係をつくるため自己紹介を行いました。

【主な内容】

- ・ 当初から運営委員として関わっています。立場の違う人同士、色々な意見を出して推進協に上げていきます。負担とならないよう動いていきたいです。
- ・ 当初は会議のことがよくわかりませんでした。色々な立場の意見を聞くことで、物の見方が変わってきました。自分のことだけ主張するのではなく、他のメンバーの意見も聞きながら自分のできることを考えていきたいです。行政と市民で役割分担をしながら、色々なことに皆さんと取組んでいきたいです。
- ・ 今年で参加して3年目です。会議ではマンパワーの力をすごく感じます。今年も大いに参加し、協力していきたいです。
- ・ 視覚障害がありますが体力には自信があります。今年で5年目です。今年も仲良くパワフルに頑張りたいです。
- ・ 参加して2年目です。去年1年間楽しく活動できました。特に障害者フォーラムでは裏方の苦勞も知りました。今年は自分の意見を色々な形で出していきたいです。
- ・ 市民になって5年目、病気になって7年目です。背骨の痛みに耐えながらも何か目的をもって生活したいと思い、参加させてもらっています。
- ・ シルバーリーダー養成講座を受けたり、手話を習ったりしていました。手話サークルで誘われたことがきっかけで会議に参加するようになりました。楽しみながら活動しています。
- ・ 支援センターでメンバーの話を聞きますが、社会参加したいという気持ちはあってもなかなか動けません。他のメンバーの意見を聞きながらうまく解決方法を見つけていきたいです。
- ・ 支援センターで手話通訳と相談員をしています。こういう場が学習の場だと思っています。今年もよろしくお願いします。
- ・ 聴覚障害者です。家ではテレビに字幕も出るし、FAX やメールもあるので不便を感じませんが、一歩外へ出ると理解がある人ばかりではありません。特に病院では困ることが多いです。口話ができると思われがちですが、初対面の人ではうまく読み取ることができません。
- ・ 去年までは杖を用いて歩くことができ、自転車にも乗れましたが、今は車いす生活です。車いすで外出すると色々なバリアに気がつきます。バリア解消に向け、細かな点を皆さんといっしょに考えていきたいです。
- ・ 定年を迎えるまでは支援学校の教師をしていました。去年はグループホームの手伝いを、今は作業所で利用者の送迎をしています。卒業後の人生のほうがずっと長いのに、卒業してしまうと在学中に比べて支援は手薄となります。お年寄りも含め、誰もが住みやすいまちとはどんなまちか勉強していきたいです。

- ・ 冊子「わ」を読みました。啓発について一人で考えるより、皆で話をして色々な価値観に触れたいと思い、参加しました。
- ・ 地区福祉委員会などもありますが、自分の手でつながっていけるところから何か始めたいと思い参加しました。
- ・ 点字を習いながら、そのおもしろさや難しさを感じています。便利な生活を送るためパソコンも勉強しています。
- ・ これまで周りに障害者はいなかったため、障害のある人との関わり方がわかりませんでした。会議で当事者の声を聞き、自分に何ができるか考えようとおもいます。気に障る発言をしてしまった場合は遠慮なく指摘していただくとありがたいです。
- ・ 長年製薬会社でMRとして、福祉系の医療機関を回っていました。現役の頃は売上げのことなどもあり余裕がありませんでしたが、定年を迎えてから障害者の人権について考えるようになりました。憲法で人権は保障されていますが障害者の人権はどうなっているのかと思っていたときに、このような会議の存在を知り応募しました。皆さんの輪の中に入って勉強していきたいと思います。
- ・ 途中で障害を負って36年になりますが、そのうち25年くらいは閉じこもっていた。今はヘルパーなどの支援を受け、支援センターで仕事をしながら一人暮らしをしています。会議ですばらしい仲間ができて嬉しく思います。

3. 21年度くれよん組の活動予定

今年度の議論テーマは“心のバリアフリー”ですが、特に障害者基本計画施策体系のうち、「4. 遊ぶ・つきあう」、「7. 知る・利用する・参加する」について話し合いを行うこととしました。

4. その他

(1) くれよん組の運営について

今年度の運営委員10名が決まりました。

(2) 第7回障害者フォーラム実行委員について

平成21年12月20日(日)にプリズムホールにて実施する第7回障害者フォーラムを企画するフォーラム実行委員12名が決まりました。

(3) その他連絡事項

昨年度の会議で話し合ったハード面のバリアフリーについて、鉄道事業者等へ要望書を提出に行った件等について報告しました。

(4) 第2回ワーキング会議の日程

第2回 8月1日(土) 午後2時から 市役所 本館8階第2委員会室